

# 令和6年度 当初予算の概要

第5次防府市総合計画の目標

【令和7年人口】

11万2千人以上



まちづくりを着実に推進！  
そして人口増加にチャレンジ！！



防府市総合政策部

# 目次

1	当初予算編成の基本的な考え方	1
2	主要事業の概要	
	(1) 市民・地域と進める防災力・減災力の強化	2
	(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備	3
	(3) 防府ファンの創出・拡大	7
	(4) 行政のデジタル化の推進	9
3	総合計画の推進・検証	10

# 1 当初予算編成の基本的な考え方

第5次防府市総合計画の基本目標である、「明るく豊かで健やかな防府」の実現に向けたまちづくりを推進します。

第5次防府市総合計画の目標実現に向け、本市の将来をしっかりと見据え、未来を切り拓いていくことを念頭に、次の2つの考え方を基本として予算を編成しました。

- ①総合計画における「重点プロジェクト」の推進
- ②「選択と集中」の視点による、真に必要な諸施策の効果的な展開

総合政策部では、こうした方針の下、行政のデジタル化をはじめ、計画に掲げる施策を確実に推進していきます。また、総合計画の推進にあたり、外部の有識者等で構成する委員会により、効果的な検証を行います。

## ◆重点プロジェクト(一部抜粋)

- 「安全・安心を第一にしたまちづくり」
  - 市民・地域と進める防災力・減災力の強化
- 「健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり」
  - 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備
- 「恵まれた資源を活かした交流拡大」
  - 防府ファンの創出・拡大

## ◆行政経営改革(一部抜粋)

- 「行政のデジタル化の推進」

令和6年4月1日

総合政策部長 永松 勉

## 2 主要事業の概要

### (1) 市民・地域と進める防災力・減災力の強化

#### 【継続】地区公共用施設整備事業



(地域振興課) 5,000千円

地域コミュニティ活動の拠点となる自治会館の修繕等の費用の一部を助成することで、自治会の地域活動を支援します。

#### ① 自治会館の改修

地区公共用施設補助金（自治会館の改修、補助率：4/10、補助限度額：110万円）

- 改修の概要：屋根・外壁・建具等の改修、  
トイレの改修・バリアフリー化、下水道接続、浄化槽設置、  
自治会館のバリアフリー化、等



## 2 主要事業の概要

### (2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

#### 【拡充】公共交通対策事業



①～④(政策推進課) 120,372千円  
⑤(地域振興課) 88,116千円

路線バスの再編や、高齢者等の交通弱者対策も含めた地域の実情に応じた交通サービスの検討を行うなど、交通事業者等と連携し、公共交通の維持・確保を図ります。

#### ① 生活バス路線対策事業

路線維持のため、交通事業者の運行に要する経費の一部を補助します。



#### ② デマンドタクシー運行事業

大道及び玉祖地域において、デマンド型乗合タクシーの運行を行います。

#### ③ 【拡充】夜間タクシー運行支援事業

夜間・深夜帯の公共交通の体制を確保するため、タクシー事業者を支援します。



#### ④ 【新規】運転士不足対策事業

公共交通における運転士不足の改善に向け、バス・タクシー事業者に新規就労し、6か月以上経過した者へ奨励金を支給します。

#### ⑤ 離島航路対策事業

野島～三田尻航路を維持するため、(有)野島海運の欠損金の一部を補助します。



## 2 主要事業の概要

### (2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

#### 【拡充】公民館機能強化事業



(地域振興課) 10,805千円

地域に定着している公民館を地域の課題解決の中心として位置付け、課題の一つである法定外公共物の管理をはじめ、地域ごとに異なる課題を把握し、支援内容を検討する体制を構築します。

地域に密着した公民館ならではの人と人とのコミュニケーションを中心としながら、デジタルを活用し、利用者に寄り添った行政手続きや行政相談を徹底します。

#### ① 【新規】がんばる地域応援事業

##### ○モデル事業の実施

- ・地域課題の解決に取り組む自治会等の活動を支援。
- ・活動に必要な経費(機械レンタル代、作業委託料等)

##### ○公民館による支援

- ・自治会等から課題を聞き取り、支援内容の検討及び関係課と調整。

R5パイロット事業(西浦地域)  
・水路の樹木伐採を支援



#### ② 公民館のデジタル化

- ・遠隔相談システム(大道、小野、富海)
- ・キャッシュレス決済(大道、小野、富海)

## 2 主要事業の概要

### (2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

#### 【継続】防犯灯整備事業



(地域振興課) 12,900千円

安全、安心な市民生活の確保のため、自治会等が設置・管理する防犯灯に係る経費を助成します。  
自治会等では設置困難な通学路については、子どもたちが安心して登下校できるよう、市が「地域安心防犯灯」を設置します。

#### ① 自治会防犯灯整備事業

自治会が設置・管理する防犯灯に係る経費を助成します。

##### > 防犯灯設置・取替補助金

- ・LED防犯灯設置 補助率60%(上限額 21,000円) ※通学路等は、補助率80%(上限額 28,000円)
- ・ " 取替 補助率60%(上限額 16,000円)
- ・灯柱設置 補助率50%(上限額 32,000円) ※通学路等は、補助率70%(上限額 45,000円)

##### > 防犯灯電気料助成金

- ・自治会が設置した防犯灯の電気料金の一部を助成します。

#### ② 地域安心防犯灯設置事業

> 自治会等では設置困難な通学路に、市が防犯灯を設置します。

〈主な設置基準〉小学校又は中学校の隣接道路で、防犯灯を設置する場所から概ね50メートル以内に防犯灯その他の道路照明及び住居がなく、防犯上必要な場所であること



(LED防犯灯イメージ)

## 2 主要事業の概要

### (2) 住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

#### 【継続】自治会振興事業



(地域振興課) 77,549千円

地域コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会等の活動に対して各種支援を行います。

#### ① 振興助成金

住民自治の振興を図るため、親睦、相互扶助活動を行っている自治会等に対し、助成を行います。

#### ② 地域貢献活動保険制度

市内の自治会、市民活動団体等が行う地域貢献活動中に事故が発生した場合に備え、市が保険に加入することで、市民等の積極的な活動参加を支援するとともに、地域貢献活動の促進を図ります。

〈対象となる団体〉

自治会活動、市民活動、その他のこれらに類する公益的な活動を自主的、継続的に実施している市内の団体

〈対象となる活動例〉

- ・広報の配布、回覧
- ・児童の登下校の見守り活動
- ・地域の清掃活動
- ・どんど焼きなどの地域行事



#### 【継続】自治宝くじコミュニティ助成事業



(地域振興課) 4,700千円

地域コミュニティ活動の充実と地域住民の福祉向上を図るため、(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、活動に必要な備品の整備に対して助成を行います。

#### ① 一般コミュニティ助成事業

地域コミュニティ団体(牟礼、勝間)が購入する備品に対して補助を行います。

➢整備する備品：和太鼓、テント、会議用テーブル・椅子等





## 2 主要事業の概要

### (3) 防府ファンの創出・拡大

#### 【拡充】UJIターン促進事業



(政策推進課) 15,599千円

#### ① 防府市の魅力発信

山口県や山口県央連携都市圏域を構成する市町と連携し、首都圏等で開催される移住フェアへの出展や観光資源を活用したワーケーションプランの紹介等により、本市の魅力を発信します。



#### ② 防府市移住支援金（国事業）

移住・定住の促進と中小企業等における人手不足の解消を目的に、東京圏から本市へ移住して就職・起業する方、また、テレワークによる「転職なき移住」をされる方に移住支援金を支給します。

〔対象者〕移住直前に通算5年以上、東京23区内に在住又は通勤していた方  
※その他就業者要件等も満たす必要あり

〔支給額〕 ○単身 60万円  
○2人以上の世帯 100万円  
子育て世帯への加算：18歳未満の世帯員一人につき100万円

#### ③ 【新規】地方就職学生支援事業（国事業）

東京都内に本部を置く大学の東京圏のキャンパスに在学する卒業年度の学部生を対象にした地方企業への就職支援（交通費補助）を行うことにより若者のUJIターン促進を強化する。

〔対象者〕本部が東京都内にある大学の東京圏のキャンパスに4年以上在学する卒業年度の学部生

〔支給額〕 選考面接に要した交通費の一部  
※就職活動に関する規定に沿った活動(6月1日以降の選考面接)に要した交通費に対する支援

#### ④ 【拡充】防府市移住支援金（県事業）

国事業の対象とならない大都市圏から本市へ移住される方で、テレワークによる「転職なき移住」をされる方に加え、国事業同様就職・起業する方にも支給対象者を拡大し移住支援金を支給します。

〔対象者〕移住直前に通算5年以上、東京圏(国事業の対象を除く東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県に在住していた方  
※その他就業者要件等も満たす必要あり

〔支給額〕 ○単身 30万円  
○2人以上の世帯 50万円  
子育て世帯への加算：18歳未満の世帯員一人につき50万円

## 2 主要事業の概要

### (3) 防府ファンの創出・拡大

#### 【継続】広報業務



(広報政策課) 230,064千円

#### ■ 情報をさらに見やすく 分かりやすく！

- ・市広報「情報ほうふ」「お知らせほうふ」を毎月一緒にお届けします！

同時に配送します！

##### 情報ほうふ

- ・写真を多用した特集ページで魅力を発信！
- ・市外の方にも読まれています！



##### お知らせほうふ

- ・暮らしに身近なお知らせ、イベント情報を満載！
- ・4月からフルカラーでさらに見やすく！

新規

- ・新庁舎、笑顔満開通りでデジタルサイネージによる市政情報発信

- ・様々な媒体での情報発信を強化！

テレビ！



ラジオ！



SNS！



#### ■ 「防府ファン」獲得のための 戦略的広報

- ・ふるさと寄附金推進事業を通じた本市の魅力発信
- ・市内高校同窓会など都市圏での防府市売り込み
- ・ふるさと納税や本市とご縁が生まれた方へ『情報ほうふ』をお届け



## 2 主要事業の概要

### (4) 行政のデジタル化の推進

#### 【拡充】DX推進事業



(デジタル推進課) 179,462千円

行政手続や行政事務のあり方を変革し、適切なデジタル技術の活用により、行政サービスをより良い方向に導くための経費です。

#### ① 行政業務システムの標準化・共通化

将来にわたる住民の利便性の向上や、行政運営の効率化を目的とした住民基本台帳システムなどの行政業務システムの標準化・共通化に向け、既存システムの移行作業を行います。(令和7年度末移行予定)

#### ② 【拡充】行政手続のオンライン化

いつでも、どこでも、子育てや介護分野などの手続、イベントの申込等ができるよう、行政手続のオンライン化の充実を図ります。

#### ③ 【拡充】AI-OCR・RPA※導入推進

企画立案や相談業務などの業務に注力できるよう、大量かつ定型的な業務を自動化できるAI-OCRやRPAシステムを運用します。

※AI-OCR・・・人工知能を利用した光学的文字認識(手書き文字の読み取りが可能)

※RPA・・・定型的な事務を人に代わり自動処理することができるツール

#### ④ 【拡充】高齢者向けスマホ等活用支援

デジタル格差の解消を図るため、デジタル機器に不慣れな高齢者等を対象に市内の各公民館でスマホ教室を開催します。

あわせて、自治会を対象としたスマホ教室を開催します。

#### ⑤ 庁内DX人材育成

DX推進リーダーやDXワーキンググループによる取組を通して、行政の抱える課題の解決を図ることのできる人材の育成に取り組みます。



やまぐちDX推進拠点



DX推進リーダー

DX WKG



### 3 総合計画の推進・検証

「明るく豊かで健やかな防府」の実現のため、「重点プロジェクト」、「分野別施策」、「行政経営改革」の推進に取り組みます。

第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」(令和3年度～令和7年度)を着実に進めるためには、重点プロジェクト等の取組状況を正しく評価することが重要です。

そのため、「輝き！ほうふプラン推進会議」において、毎年度、事業の進捗管理、検証を行います。加えて、次期総合計画(令和8年度～)に向けた検討を行います。

【次期総合計画に向けた検討 11,500千円(政策推進課)】



防府読売マラソン大会開催により、テレビ、新聞、Webの広告費に換算して、少なくとも約15億円に相当する効果もたらされているよ



媒 体		露出量	広告費換算額
テレビ	全国・関東ローカル局放送分	2局 (3分48秒)	約98百万円
	大会当日中継分	14局 (2,175分)	約1,306百万円
新聞	読売新聞	36記事 (23,147字)	約27百万円
Web	Yahoo!ニュース	23記事	約63百万円
広告費換算額 合計			約15億円